

2023~2024
黎明季報
第3号

We Serve
ライオンズクラブ 国際協会337-D地区鹿児島R-1Z
鹿児島黎明ライオンズクラブ
———クラブ会長スローガン———
感動、そして 奉仕へ
会長 L.富永 修

第二副地区ガバナーになって思う事

L.脇黒丸一典



副地区ガバナーになって多くのクラブを回らせて頂きました。そこで感じたのは何処のクラブでも出席率が本当に少ない。これを60%、70%にするにはどうしたら良いかという話をさせて頂きました。そのためには楽しい例会にしよう、では楽しい例会とはどんな例会かと言われて、自分自身が本当に楽しく例会でビールを飲んで、一日の疲れを取る、また仲間内だと異業種の中で楽しく話が出来るのも楽しい例会でしょう。しかし、やはりライオンズクラブとして、奉仕団体として、何の事業をスルかという発案をしながら、悩み悩むライオンズクラブであって欲しいというクラブが数多くありました。「我々は奉仕の為にライオンズクラブに入ってきたんです」という事を若い人が言います。{We Sereve}に憧れて入ってきたんです。でも、ただの飲み会じゃないですか」と若い人からきつきました。それを聞いてショックを感じました。一人で掃除をするのは恥ずかしい、しかし大勢でするのは恥ずかしくない、だから奉仕をするために入りましたという人がおります。やはりそのように切り替えて行かねばならないと感じました。

そこでライオンズの勉強会で、私が第二副地区ガバナーに指名されたのは、私はただ、不公平な選挙は駄目ではないかと国際本部に申告しました。そしたら第二クラブというのは公平でなければ奉仕は出来ません、選挙を下さいと国際クラブの本部からおりてきました。

それが地区大会で選挙されなかったが、それはガバナーの失態で、第二副地区ガバナーが空席では駄目だということになりました。本当は本部の指令によって誰と誰が立ち会いになって選挙の投票権があしますという命令が来ました。そこで裏で、会員が知らないことで、元地区ガバナーを集めて選挙をして貰って私が当選したのです。それで国際本部から指名がきました。そういう事で私は副地区ガバナーになったのですが、今だに少しくすべっている状態です。

うちのクラブに対しても良く言われるのですが、昨日のゴルフでも私と富永会長だけの参加でしたが、黎明は第二副地区ガバナーへの協力体制が出来ていないのではと良く言われています。いやそうじゃないと言うのですが、そういうことを言う人がいます。しかし他のクラブでも50%を着るクラブが多いです。数字を見られると答えようがないのですが、そこでライオンズクラブ国際協会会則及び附則があり、これに則ってライオンズクラブは運営されているという事を皆さんも知って欲しいです。この会則は地区で変えても良いというのがありますが、これを変えるにはキャビネット会議などで2/3以上の賛成がなければ変えられない、地区だけでは変えられないという事があります。

皆様もこういうのを見て頂ければ面白いのではないのでしょうか。

会費も市内では20数万円、しかし地方に行けば5万、6万という状態で、しっかり活動しています。それだけでそうしてやれるのかと何時も話を聞いているのですが、そのようなある程度、皆が入れるような会費であれば本当に盛り上がりゆくのではないかと考えています。

私もこの立場になって、お金もいる時もあります、なるべくお金が要らないようにして行きたいなと、嫌われても良いのですが、ライオンズを思う気持ちがあれば誰でも役員になって活動できるようなライオンズクラブを作りたいと津に日頃思っていますので、是非協力をお願いいたします。

とくり こうじ

徳利浩司ZC 例会訪問されお話を頂きました 11月2日 第843回例会



こんばんは。今期鹿児島R.1Z.ZCを拝命した徳利です。黎明LCさんには色々お世話になっております。今夜の私の役目はガバナーの思いを伝える事ですが、やはり会員増強とLCIF、それをやって頂きたい。ライオンズクラブは本当に良い奉仕活動をしています。日本は災害はあるけれど、平和なんですね。世界中の本当に困っている人たちをどう支えるかとなるとライオンズクラブのつながりが大事になります。今日LCIFの勉強会のレジメを持ってきましたが、これを例会等で見て頂いて、LCIFの原点を理解して貰いたいです。世界中では困っている人が多くいますので、100ドルでも1000ドルでもして頂ければと思います。会員増強ですが、ただ人を増やそうと数字だけを追いかけているみたいですが、そうじゃない、We Serveの精神はそうではないということをもう一回皆さんで確認して頂ければと思います。ライオンズの本当の精神を理解する仲間を増やし、一緒に奉仕活動をしたいと思っております。

今期、鹿児島中央駅で合同献血運動を行います。鹿児島中央駅は若い人が多く通りますので、若い人たちに献血の重要性を知って貰いたいと考えています。是非、参加して頂いて若い人たちに声かけをして頂きたいと思っております。

鹿児島第一LCのファンレイジングパーティが開かれました

2023年11月5日(日) 鹿児島サンロイヤルホテルにて

今回33回目のとなる鹿児島第一LCチャーターナイト記念のファンレイジングパーティが開かれ、L.有馬夫妻とL.伊東が出席しました。「ファンレイジング」とは、非営利団体による活動のための資金調達のこと個人、法人、政府などその対象はさまざま、NPO法人をはじめ、大学法人、社会福祉法人などが世界中でさまざまな活動を行っているようです。パーティは食事の後、ヴォーカル西村知恵さん、ピアノ若井優也さんによるジャズのライブ演奏があり、出席者を魅了していました。西村知恵さんは阿久根市出身。



鹿児島中央LC結成60周年記念式典・祝賀会が開かれました

11月19日(日)城山ホテル鹿児島のエメラルドホールで開かれ、L.脇黒丸、L.瀬戸山、L.富永、L.有馬、L.増田、L.下野、L.狩生 L.樋口、L.伊東が参加。来賓、地区役員など含めて総勢181名、中央LCの参加者を含めると200名以上の賑やかな式典・祝賀会でした。午後1時から記念式典、午後2時からアトラクションとして鹿児島実業高校男子新体操部の演技が披露され、2時半過ぎから祝賀会が午後5時まで行われました。祝賀会は鹿児島オペラ協会の方々のオペラ「椿姫」の乾杯の歌、「カルメン」の「闘牛士の歌」で華やかに開会、その後も鹿児島YMCAのチアリーダー達の元気なチアダンスが披露されました。L.瀬戸山のお孫さんにもこやかに笑顔一杯で踊っていました。最後はライオンズア、また会う日までの斉唱で祝宴は終わりました。



中央LC会長 牧野祥一郎 脇黒丸Lへ感謝状贈呈 鹿児島オペラ協会の皆様による オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」 瀬戸山Lとお孫さん

肥後黎明LCクリスマス例会に参加

12月13日(水)KKR熊本ホテルにて

肥後黎明LCからご案内を頂きましたので、L.脇黒丸一典、L.有馬 洋、L.伊東祐久の三人で訪問致しました。手土産にL.脇黒丸に本格焼酎の佐藤、伊佐美を準備して頂きました。

会場について吃驚したのが、若いライオンが多いことでした。若さに圧倒されました。受付で先ず2000円で抽選券(ハッピーカード)を2枚、購入。これは準備されたお土産になります。例会の途中でビジター紹介ということで3人を紹介して頂きました。その後、助成金を2団体に贈呈などがあり、一旦閉会、クリスマスパーティが始まりました。オークションも色々な品物が提供されており、値段が面白いようにつり上がり、かなりの金額になったと思います。楽しく賑やかな素晴らしい会で、良い思い出になりました。その時に鹿児島黎明LCのクリスマス家族例会にもお越し頂けるとの約束を頂きました。



会長L.門岡あき挨拶 景品(右へ行くほど高価な景品) NPO法人となりびとへ助成金贈呈

鹿児島市内10LC合同献血運動行われる

12月3日(日)

12月3日(日)午前10時より鹿児島中央駅前広場(若き薩摩の群像近く)にて開かれた。鹿児島黎明LCは午後2時から3時迄の担当で、L.脇黒丸、L.富永、L.有馬、L.樋口、L.下野、L.狩生、L.関、L.瀬戸山、L.精松の9名が参加。当日は献血車は1台。献血の受付は60名、200ml献血2名、400ml献血60名で採血は400mlのみ47名でした。各クラブ献血5回の成績となりました。



クリスマス家族例会開催

12月17日(日) マルヤガーデンズ8階ブルームにて

新型コロナウイルスもある程度落ち着いたこともあり、久々にクリスマス家族例会が開かれました。今回は熊本からも337-E地区ガバナーL.伊藤竜彦 姉妹クラブの肥後黎明LCのL.門岡あき会長他計5名の参加も頂き、賑やかな楽しい例会となりました。増田L.からはLLへのお花を、関L.からクリスマスツリー、脇黒丸L.からは子ども達へのプレゼント、他に数名の会員からも金銭ドネーションを、また肥後黎明LCからお土産としてドーナツ焼き菓子を頂きました。今回オークションは1000円からとして、多くの人に買って頂き感謝です。参加者は家族会員も含めて68名、出席率は62%でした。



富永会長挨拶 伊藤ガバナー挨拶 門岡会長挨拶 下野委員長挨拶 脇黒丸乾杯挨拶 狩生司会者 假屋TT



新年明けましておめでとうございます

会長L.富永 修



新しい年、辰年を迎えられ会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年是我が黎明ライオンズは二人の退会と何人かの休会はありましたが、LCIFに対しても皆様の協力があり総じて大過無く活動が出来たのではないかと考えています。有難うございました。しかし、世界では数カ国で戦争があり、日本も年末になって東京永田町は政権を揺るがす騒動が起きてます。今年はどんな形で解決、収まっていくのか、不透明な状態ですがそれに惑わされず我々はライオンズ活動に邁進しましょう。思いますと我が黎明は後期高齢者が半数ぐらいになるのは?、残された人生を悔いのないように楽しみましょう。「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」、(サミュエル・ウルマン) 今年もご協力の程宜しくお願いします。



令和6年最初の早朝清掃行われる

1月7日(日)7時半より、朝の気温5℃の中、大久保・西郷生誕地の清掃が富永L.脇黒丸L.有馬L.下野L.増田L.古市L.假屋L.伊東L.関L. Leo、千原L.,Leo. 千原Lの孫、精松L.三州原学園生徒3名と多くの参加で行われました。落葉も少なく約30分で終了。その後、瀬戸山L.から恒例の豚汁とおにぎり、お茶の差し入れ、また千原L.からはドネーションを頂きました。ありがとうございました。2月の清掃も宜しく!!



クリスマス家族例会を無事に終えて L. 狩生 豪

今年は、久しぶりにご家族、肥後黎明LCを交えてクリスマス家族例会を開催できました。初めての計画委員でしたので、少し緊張しましたが皆様が楽しかったと言っただけのよう下野委員長と考えて準備致しました。何とか無事に終えたこと、ほっとしています。日頃からライオンを支えられているご家族の楽しそうな笑顔や笑い声が聞けたこと、とても嬉しかったです。日高バンド演奏ダンスや抽選会、プレゼントなど豪華に計画ができたのは、会員の方々の温かいドネーションやオークションでのご協力を頂いたことによって盛大に開催できました。皆様の優しさを身に染みて感じ、思い出に残るクリスマス家族例会となりました。会員とご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。



編集後記:新年おめでとうございます。今年1年が良い1年であることを祈ります。ただ新年初めから能登半島の大地震や日航機の衝突事故などで多くの方が亡くなったり被害を受けたりと心を痛めるニュースが続きました。今年は何んな年になるのだろうかと不安がよぎってしまいます。さて富永会長に年頭のご挨拶を頂きました。会長として後半年ですが、共にクラブが発展するよう力を合わせましょう。3号1頁に第二副地区ガバナーに就任した脇黒丸L.と例会訪問をされた徳利ZCのお話の概要を掲載しました。しっかり読んで頂きたいと思います。2頁は鹿児島中央LCの60周年記念式典、第一LCのパーティ、肥後黎明LCのXマス例会の様子は。参加して他クラブの活動を知り、とても有意義でした。今年も多くの催しが予定されています。一人でも多くの会員の参加が望まれます。3頁は献血運動と久々のXマス家族例会です。幸せな顔が一杯の写真をご覧下さい。準備された方々のご苦勞に感謝致します。今年も宜しくお願いします。「We Serve!」 【黎明季報】 023~2024年度 vol.3 (2024年1月発行) 文責:伊東祐久